

発行 調布市男女共同参画推進センター

〒182-0022 東京都調布市国領町2-5-15 調布市市民プラザあくろす3階 ☎042-443-1213
fax 042-443-1212 メール danjyo@w2.city.chofu.tokyo.jp ホームページ <http://chofu-danjyo.jp/>



『『父親が子育てを思いっきり楽しむ』ために母親たちにできること』の講座より

男性の家事・育児

〜やりたい夫・やってほしい妻 なのになぜ…〜

この夏、オリンピックが北京で開催されました。テレビで、あるいは現地でも楽しむために、苦労して仕事や家事に費やす時間をやり繰りしたのではないのでしょうか。

ところで、内閣府が、平成20年度を仕事と生活の調和「元年」と位置づけていることをご存じですか。「カエル！ジャパン」キャンペーンを展開し、「ひとつ『働き方』を変えてみよう」と提唱しています。働き方を変えることでプライベートを楽しむ時間をつくり出し、ひとりひとりが、仕事も、人生も、めいっばい楽しめるそんな会社や社会になることを目指しています。

● 働き方をカエル ●

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の現状については、東京都が昨年実施した調査「東京の子どもと家庭」からうかがうことができます。夫の7割が家事・育児を「もっとやりたい」と回答し、多くの男性が積極的に家庭生活について考えていると言えます。一方で妻の8割が、夫に家事・育児を「もっとやってほしい」と回答しています。では、なぜ夫が家事・育児をもっとできないのでしょうか。現実を「理想に近づけるための条件」として、妻の多くが、夫の「意識が変われば」と回答しており、夫の「もっとやりたい」気持ちは、残念ながらあまり妻には伝わっていないようです。また、夫・妻ともに「勤務時間が短縮できれば」という回答が一番多く、ワーク・ライフ・バランスの実現には働き方の見直し課題と言えますが、ほかに課題はないのでしょうか。

● 家庭もカエル ●

家事・育児をしたい父親を阻害する要因は、身近なところにもあるようです。NPO 法人ファザーリング・ジャパン代表の安藤哲也さんは、家事・育児は女性の仕事、男性にはできないと思いが込み「門番」をしている女性、少し門戸を開いても指示・評価ばかりする「上司」になっっている女性の存在を指摘しています。男性たちは、仕事を終えた後、怖い上司が待っている家で家事・育児をしたいと思っでしょうか。



ファザーリング・ジャパン代表
安藤哲也さん

安藤さんは、子育ては楽しいというメッセージを発信し続けようと母親に呼びかけています。子育てを楽しむ母親につられて、父親も笑って子育てするようになれば、子どもにとってもハッピーだと言っています。調布市男女共同参画推進センターの講座「父親が子育てを思いっきり楽しむ」ために母親たちにできること」の中でのお話です。

● 自分自身もカエル ●

参加者からは、「長男が生まれたとき夫が子育てを楽しみたいとがんばっていたが、自分のかたくなな気持ちで門番となり、上司になり、夫の子育てを阻んでいたんだと気づかされた」、「子どもと自分のことばかり考えていたけど夫にも幸せになってほしいと気づか

された」といった感想が寄せられました。NPO

法人ファザーリング・ジャパンは、「ファザーリング」(※)の理解・浸透が深まっている父親」を増やし、

働き方の見直しや企業の意識改革等につながる、今後の日本社会に変革をもたらすと考えてさまざまな活動をしています。参加者の共感や反省の声が寄せられたことは、この活動に基づく指摘が、現状を的確にとらえていることの表れと言えます。

また、安藤さんは、父親が子育てをするようになるに母親化していく、つまり、親としての行動は性別によるのではなく、役割によって変わるとも言っています。さらには、子どもは必ず何かを返してくれる、だから、育児した父親は楽しい人生を送ることができると本当に楽しそうに語ってくださいました。育児する父親、しない父親、どちらを選びますか。

ワーク・ライフ・バランスの実現には、このほかにも課題があることでしょ。この機会に、仕事や生活をもう一度見直してみませんか。昨日よりちょっといい明日を探すために。

(※)「ファザーリング」とは「父親を楽しむ」という造語。NPO 法人ファザーリング・ジャパンがその活動の原動力としている言葉。

コラム

「俺と 育児！」

地方公共団

体職員、43歳、

昨年7月に男の

子が産まれた。一昨年の12月に育児取得の意志表示をした。育児！これは、資格のある労働者が適法な申出をすることだけで行使できる権利である。事業主は、要件を満たした労働者の育児休業の申出を拒否できない。そして、男女ともに認められている権利である。私の場合は、職場の人たちの応援もあり、今年の2月から3か月間の育児を取得した。とても感謝している。

育児前は、あまり子どもに相手にされていなかった。私を見ないし、抱けば泣いた。私は育児に向いていないと思ったりもした。しかし、育児取得を宣言した以上あとには戻れない。不安が解消しないまま育児がスタートした。

子どもと一緒にいるようになると思議とリズムが出てきた。母親がいる時とない時とではまるで態度がちがった。案ずるより産むがやすしとはこのことか。決まった時間にミルクを飲んで寝てくれた。その間に炊事、洗濯：起きたら一緒に遊ぶ、毎日繰り返した。

1か月めは全てが新鮮で楽しく、私は育児がうまいのではと思うようになってきた。2か月めには単調な日々が辛くなってきた。映画も見たいし旅行も行きた。3か月めには子どもが保育園に行き始めた。保育士の腕の中で泣きながら手を伸ばしてくる子どもの姿は愛おしい。後追いされてこのうえない快感に浸る一方で、育児終了へのカウントダウンが子どもと離れる淋しさと職場復帰への不安をつのらせた。育児中は、その証に髪と髭を伸ばしていた。最後の日には髪を切り、髭をそった。子どもはしばらくの間不思議そうな顔をしていた。やがて私のもとに這ってきて両手を差し出した。その姿はまさに育児万歳だ！

確かに私は環境的に恵まれていたのだろう。しかし、ワーク・ライフ・バランスは自分自身のバランス、だれも与えてはくれない。活用する気持ちがないければ絵に描いた餅にすぎない。私は男性職員としては3人目の取得者だったらしい。子どもは子どもなりに精一杯生きている。子どもに接し、親も精一杯生きなくてはならないと学んだ。

5つの講座から

【職場のコミュニケーション、困っていませんか？自分を伝えるアサーティブ・トレーニング 全4回】(5/14・21・28・6/4)
 竹崎かずみさん(NPO法人アサーティブジャパン認定トレーナー) 参加者数: 延べ49人

【「私と子どもと世の中と」I〜楽しみながら「私」をブラッシュアップ! 全6回】(5/15・23・29・6/5・12・19)
 ①自分を大切にするということ・青木悦さん(教育ジャーナリスト) ②自分も相手も大切にできるコミュニケーションとは・岩井美代子さん(エンパワーYOUネットワーク代表) ③「父親が子育てを思いっきり楽しむ」ために母親たちにできること・安藤哲也さん(NPO法人ファザリング・ジャパン代表) ④対話と共生へのチャレンジ〜性別役割分担からの解放をめざして・加藤春恵子さん(東京女子大学講師) ⑤言葉で「私」を伝える・鈴木京子さん(フリー編集者・記者) ⑥講座を振り返って、そして、いっしょに読みましょう『世界中のひまわり娘へ』参加者数: 延べ10人 参加者の感想: ☆講師や皆さんの意見に目からウロコが落ち、元気づけられました。☆これからの私の未来には選択の幅があり、多くの可能性があると思えました。力が湧いてきました。



「パパっとできるお弁当」の講座より

【世界を知れば日本がもっとわかる〜結婚・家族・女性の現状 前半 3回】(6/20・27・7/11)
 ①現代韓国と女性・春木育美さん(立教大学兼任講師) ②インドの女性とダウリー制・カマヤニ・シンさん(NHK海外放送インド担当) ③エルダとその家族の物語〜東ティモールのふたつの戦争・古沢希代子さん(東京女子大学准教授) 参加者数: 延べ107人 参加者の感想: ☆韓国の女性の進学率や社会的進出度の高さにびっくりさせられました。☆ダウリー制は、女に扶養される者という規範の下で、生まれた家によって人生が決められる象徴のように感じました。☆戦争を知らない世代の私たちも、過去の惨劇を知ること、同じ過ちを繰り返さないようにしなければいけないと強く思います。

【自分らしい選択をするために情報を読み解く力をつけよう 全2回】(7/5・12)
 新開清子さん(FCITメディア・リテラシー研究所理事) 参加者数: 延べ14人 参加者の感想: ☆とても内容が濃い充実したワークショップでした。4、5回かけて学んでみたいと思いました。

【パパっとできるお弁当 全1回】(7/13)
 公立保育園栄養士 参加者数 大人12人・子ども13人 参加者の感想: ☆時間が少ないときでも手作りができると感動しました。たいへん楽しかったです。

information これからの講座

募集中

【自分らしい選択をするために、情報を読み解く力をつけようⅡ 全2回】
 ①9/30 ②10/7

【シングルマザー応援講座&相談会 全2回】

- ①シングルマザーの子育て9/6
- ②シングルマザーのライフプラン〜教育資金・仕事など10/4

【元気に働き続けるための講座〜自分を知る・自分をいたわる 全3回】

- ①「こころの元気が不足している」と感じたら〜自分のストレスを知り、対処法を見つけるために9/28
- ②「不安やストレスの原因が人間関係にある」と感じたら〜職場のハラスメントから自分を守るために10/19
- ③「こころもからだもこわばっている」と感じたら〜からだの緊張を解き、こころのエネルギーを充電しよう10/26

【私と子どもと世の中とⅡ〜いつでも自分らしく 全8回】

- ①未来は私から始まる〜性別役割分担を超えて9/25
- ②元気な私でいるために〜心もからだもしなやかに10/2
- ③いつでも自分らしく〜世の中とのかかわりの中で10/11
- ④自分らしく生きる〜女性のからだと性10/16
- ⑤マイナスをプラスに〜身近なDVの芽をつむぐために10/23
- ⑥そもそも結婚とは〜日本とフランス、その違いから見えてくること10/30
- ⑦言いにくいことを言う〜アサーティブ・トレーニングの方法を知って11/6
- ⑧講座を振り返って〜昨日よりちょっといい明日を探して11/13

【世界を知れば日本がもっとわかる〜結婚・家族・女性の現状 後半4回】

- ④フィンランドの女子はなぜ勉強に積極的なのか9/19
- ⑤階層差の大きいブラジル社会と日本に暮らすブラジルの人々9/26
- ⑥アフリカの貧困と紛争〜音楽からアフリカを知る・考える10/10
- ⑦在日を生きるコリアン女性たち〜私の歩みをたどりながら10/17

【家族…風通しのよい関係をつくるために(仮) 全4回】
 1月〜3月

【パートナーの一言やふるまいに心がふさぐことがありますか(仮) 全1回】 1月or2月

【パート労働セミナー&相談会(仮) 全2回】

- ①そこが知りたいパート労働法 11/20
- ②そこが知りたい税金と労働保険・社会保険 11/28

【男性(パパ&シングル)対象講座「知って・話して・つながって〜chofuで自分、をひろげよう」 全4回】
 10月〜11月

【からだといのち〜思春期の子どもと向き合うために全1回】

【女性が働き続けるために〜私らしい仕事・働き方を見つけよう 全1回】
 11月11日

【出産・加齢からくる不快症状を改善しよう!〜骨盤底筋体操 全1回】 1月

企画

図書資料コーナーからのお知らせ

<新着図書一覧(2008年4月~8月)>

書名	著書名	出版社	出版年
恋する物語のホモセクシュアリティ	木村朗子	青土社	2008年
パパの極意 仕事も育児も楽しむ生き方	安藤哲也	日本放送出版協会	2008年
パンソリに想い秘めるとき	呉文子	学生社	2007年
インドの女性たちの肖像	サイイダ・S・ハミード	柘植書房新社	2007年
フィンランドのジェンダー・セクシュアリティと教育	橋本紀子	明石書店	2006年
現代韓国と女性	春木育美	新幹社	2006年
アフガニスタンの女性に教育を 希望の学校	駿溪トロペカイ	「希望の学校」事務局	2005年
おんなごころ おとごころ	岩井美代子	ワニブックス	2004年
こころのちから	岩井美代子	ワニブックス	2001年
アサーティブトレーニングBOOK	小柳しげ子 他	新水社	2008年
記憶のキャッチボール	青海恵子・大橋由香子	インパクト出版会	2008年
アフリカのいまを知ろう	船田クラークンさやか(山田肖子編)	岩波書店	2008年
実測! ニッポンの地域力	藻谷浩介	日本経済新聞出版社	2007年

※ 図書資料コーナーには、男女共同参画に関する約2000冊の書籍・資料の他、絵本、紙芝居、各種新聞・雑誌(週刊誌・月刊誌)、映像資料があり、どなたでも閲覧できます。また、書籍、絵本、紙芝居、雑誌の一部は貸出もしています。
 ※ 貸出は調布・狛江・三鷹市在住の方、または調布市在勤・在学中で中学生以上の方が対象です。利用者登録が必要です。
 ※ 貸出は1人3冊まで、貸出期間は2週間です。

男女共同参画推進センターの 一時保育

講座に参加・相談を利用されるママやパパの強い味方、保育者さんからの声です。

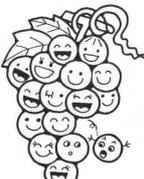
わが子を初めて保育室に預けるときは、さぞご心配なことでしょう。いろいろ考えてしまいますよね。でも、案外大丈夫なものです。どの子にもリラックして楽しく過してもらうために、ときには抱っこしたり、膝の上にのせたりして、たくさん言葉をかけるように心がけています。

月齢差のあるこの保育では、小さな子が大きな子の真似をしたり、大きな子が小さな子にオモチャを貸してあげたりと、お互い良い刺激になっています。

おやつをとっても楽しみにしていて、一緒におもちやを片付け、手を洗ってみながらそろそろのを待っています。おやつのは後は、手遊びして一緒に大きな声で歌い、目をキラキラさせて紙芝居を聞いています。

お子さんが保育室で元気に遊び、楽しめると保護者の方の不安も減り、家族の世界も広がっていくことでしょう。講座に安心して参加できる、そんなお手伝いが少しでもできればと思っています。「また小さな子を預けるのは……」という方もぜひ一度チャレンジしてみてくださいいかがですか。

※ 男女共同参画推進センターの事業では、



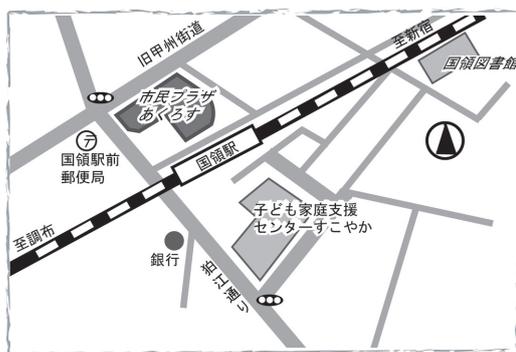
1歳以上小学校就学前までのお子さんを事前予約でお預かりしています。

調布市男女共同参画 推進センター

調布市男女共同参画推進センターは、調布市男女共同参画推進プランに基づき、男女共同参画社会を実現するため、講座・講演会の開催、相談事業、情報収集発信事業、市民活動支援事業を行っております。

042(443) 1213
 042(443) 1212
 danijo@w2.city.chofu.tokyo.jp
<http://chofu-danijo.jp/>

最寄駅：京王線国領駅北口徒歩1分
 ※車でお越しの場合は、コクティ―駐車場(有料)をご利用いただけます。
 ※自転車でお越しの場合は、国領駅北駐輪場をご利用いただけます。



〒182-0022 調布市国領町2-5-15
 調布市市民プラザあくろす3階